

LAMPIRAN

Data	Kalimat Percakapan
1	<p>イサベル : それじゃあ結果を返すわね。ノーマン、レイ、エマ すごいわ3人とも。また満点フルスコアよ!</p> <p>エマ : イエーイ!</p> <p>一同 : おおー!</p> <p>ナット : やっぱ 違えなあ あの3人は。</p>
2	<p>トーマ : まあ 半分はいったろ。</p> <p>マルク : 半分も?すご~。</p> <p>コニー : いいな~ 私なんか 全然。</p>
3	<p>ドン : 入ってきたよ。ママの秘密の部屋。</p> <p>エマ : どうやって!?</p> <p>ギルダ : ドンが鍵を盗んで…。</p> <p>エマ : ママから!?</p> <p>ノーマン : それで? ママには?</p> <p>ギルダ : 気付かれてないと思う。 鍵ももう返したし...たぶん。</p> <p>レイ : チッ。 バカなことをしてくれたな。</p>
4	<p>ナット : 俺はうまいもん食いたいなあ</p>
5	<p>エマ : ノーマンは?</p> <p>ノーマン: 僕はいろんな場所に行って見たことないものを見 てみたいな。</p>
6	<p>鬼 : ハア~ うまそうだなあ。 やっぱり人間の肉が一番だ。</p>
7	<p>レイ: すごいな。 本当に時間を切り取ったみたいだ。</p>
8	<p>ノーマン : すごいよね。あの状況で何かを守ろうと 考えられるんだ。</p> <p>レイ : でも 正しくない! 泥舟だぞ! ぶっちゃけ3人だろ! 3 人なら逃げられる! お前は 正しい。 自分を恥じるな。情で判断をねじ曲げるな! ノーマン!</p>
9	<p>レイ : 心配するなそんなへまはしない。</p>

10	<p>レイ : 焦るな。考えろ。どうすれば逃げ切れるか。</p> <p>ラニオン : う～ん…。</p> <p>レイ : ノーマンはそういうのを見逃さないぞ</p>
11	<p>レイ : だいたいまだ完成してないしな。</p>
12	<p>ドン : 合図こないな。</p> <p>ギルダ : うん。</p> <p>ドン : このまま無事に…。</p>
13	<p>ノーマン : 問題はみんなママを信じきっていることと たぶん真実に耐えられないことだな。</p> <p>エマ : 嘘ついて連れ出す...とかになるのかな？</p>
14	<p>エマ : いいね。レイは</p> <p>レイ : 外に出たら...まず 生きていかなきゃな。</p>
15	<p>エマ : ノーマン! 大丈夫!?</p> <p>ノーマン : 考え過ぎて疲れちゃったかな?</p> <p>エマ : フフッ。 もうしょうがないな～!</p>
16	<p>ドン : これ面白えよ!</p> <p>次は俺が隊長な!</p>
17	<p>レイ : で...実際逃げるとなると問題は色々あるが まずは人数だな。実現可能なメンバーに絞って</p>
18	<p>鬼 : また 6 歳。 このところ並の出荷が続いている。 ...が ようやく上物以上を収穫できるな。</p>
19	<p>ノーマン : 発信器に気を取られて大人が増えるなんて 考えもしなかった。</p> <p>レイ : 逆に喜んでやろうぜ。</p> <p>エマ : えっ? 喜ぶ?</p> <p>レイ : キャロルとあのシスター・クローネ情報源が 2つも増えたってな。</p> <p>ノーマン : なるほど</p>
20	<p>トーマ : うまく逃げたと思ったのにな～。</p> <p>レイ : 自分の痕跡 残すだけじゃ駄目だ。 相手の痕跡も見ねえと。</p>
21	<p>ノーマン : エマ。今日からはチームで鬼ごっこを していこう。</p> <p>エマ : チームで?</p> <p>レイ : 今のまま個々で逃走したらほぼ死ぬからな。</p>

22	ドン : 俺はそんなふうに信じられない。 だってあいつらが俺たちを 信じてないからな。
23	レイ : でもまず考えるべきは全員をどう逃がすか。 そして発信器の在りか。 エマ : あれから体中探したんだけど 埋められた痕なんてなかったよ。 ノーマン : 服や靴にもね。
24	ドン : おいもし木に隠したロープが見つかったら…。 ノーマン : 大丈夫ロープなんて何とでも言い逃れ できるよ。遊びで使うと <u>か</u> ね。でも…。
25	ノーマン : ずいぶん懐かれていますね。 レイ : ああ。子供たちが懐いてる 大人2人をどう出し抜くか。
26	エマ : これ。。。なあに？ レイ : 門だよ。中と外をつなぐもの。 エマ : 外かあ。。。一度も行ったことなね。
27	イザベラ : あなたは賢い子。 今後は道を誤らないでね。
28	レイ : 俺はこいつと違ってうたぐり深いんね。 このミネルヴァって男確かに 味方かもしれん…。が…生きてるか 死んでるかも分からん相手だぞ。 期待し過ぎるのはどうかと思うね。
29	イザベラ : さようなら。新たなプラントでも 頑張ってね。
30	イザベラ : ここからは私一人で制御する。 ごめんねレイ。私がこれからすることを 許してね。
31	イザベラ : 10年一緒に暮らしたけれどお芝居抜きでお話する のはこれが初めてね。
32	イザベラ : 今ここではただの飼育監と食用児。 でも誤解しないでね。
33	シスタークローネ : ノーマンとレイ <u>ね</u> 。

	<p>レイ : はい</p> <p>シスタークローネ : テストフルスコアなんですってね。</p> <p>レイ : はい</p> <p>シスタークローネ : すごいわ。よろしく<u>ね</u>。 仲良くしましょう。</p>
34	<p>ノーマン : でも僕たちもママに比べたら まだまだだね。</p>
35	<p>エマ : 確かに。私たち一度もママにチェスで勝ったことないしね。</p>
36	<p>エマ : フィルは逃げるの上手だったね!</p>
37	<p>ギルダ : だって! 今これ一種類だけだよ。本で 読んだの。外の世界には信じられない くらいの。たくさんの種類の服があるのよ。全部着て みたい!</p>
38	<p>コニー : 私書くね。手紙いっぱい書く。みんなの こと絶対忘れない。私ハウスを出たらママみたい なお母さんになるの。それで絶対に子供を捨て たりしないの。</p>
39	<p>シスタークローネ : 私が <u>ママ</u>になるの! いつかじゃなくて 今なんじゃな〜い!?</p>
40	<p>レイ : でも 事実だろ。運動が苦手なやつも いるしろくに歩けない赤ん坊も いるんだぞ。</p> <p>エマ : それについては考えがあるの。</p> <p>ノーマン : 何?</p> <p>エマ : 鬼ごっこ</p>
41	<p>レイ : エマがあので蔵書票に気付いていたとは。</p> <p>エマ : あれ気付いたの私じゃないよ。</p> <p>ノーマン : えっ?</p> <p>エマ : フィルが見つけて教えてくれたの。</p>
42	<p>ドン : ママの座?</p> <p>シスタークローネ : 言っとくけど本心よ。 私も抜け出したいの</p>

	今の境遇から。
43	エマ : 何!? それ。 シスタークローネ : チップが入ってる。大人はね一歩でも農園の外へ出たらこれに電気を流されて心臓を止められちゃうの。
44	エマ: あれ見せて。発信器の信号を確認するモニター。 シスタークローネ : ええ... どうぞ。どう? シンプルでしょ。 現在地だけで個人の特定はできないの。
45	シスタークローネ: ああ〜っ 残念よ ギルダ! あなたとはお友達になれると思っていたのに! ウフッ。他に誰が知っているの?
46	ノーマン : レイはいつからママのスパイだったの? レイ : ずっと前から。ずっと前からママの手下だった。
47	ノーマン : レイはどうしてママの犬 <small>いぬ</small> をやっているの? レイ : どうして?
48	ノーマン : でもそれは同時にママも制御していたんじゃないの?
49	ノーマン: なるほど。他にも分かることはないの?
50	レイ : エマがああ蔵書票に気付いていたとは。 エマ : あれ気付いたの私じゃないよ。 ノーマン : えっ? エマ : フィルが見つけて教えてくれたの。
51	ギルダ : 下見って。柵の先塀に登って外を見るんだよね? 発信器...どうするの?
52	エマ: 世界がどうしてこうなったとか知らないの? シスタークローネ: 知らないわ。 エマ: このハウスはどこにあるの?
53	シスタークローネ: 今がチャ〜ンス! ピル : 何してるの?
54	イザベラ : どうしたの? うれしくないの? シスタークローネ : いえ光栄です。すぐ支度します。
55	エマ: 私たちずっと食べられるために生きてきたの?

	ノーマン: 逃げようエマ。ここを出るんだ。
56	ギルダ : エマは 見たの? コニーが売られて いったの... その悪い人に。
57	レイ: できなきゃエマもろともここで死ね。 ノーマン: 僕らを死なせたくないんじゃないのかの?
58	ドン : えっ? 人身... 売買? エマ : うん…。 今までのきょうだいみんな 悪い人に売られてたの…。
59	イザベラ : あなたのことは最後まで 手放したくなかったのよ。 レイ : だったら! イザベラ: でもしかたないの。
60	イザベラ : 排除したの。 レイ : えっ? イザベラ : シスター・クローネは排除した。

